

バリアフリー等地域連絡会議の開催について

令和7年7月

国土交通省 中国運輸局 共生社会推進課

国土交通省 中国地方整備局企画部企画課

バリアフリー等地域連絡会議の開催について

中国運輸局・中国地方整備局合同で、令和6年度は島根県と広島県において地域連絡会議を開催しました。

島根県バリアフリー等地域連絡会議

【会議概要】

日時：令和6年10月29日（火）13:30～16:00

場所：対面・WEB併用で実施

- 議事：（1）開会挨拶（島根運輸支局長）
 （2）座長選出・挨拶
 （3）運営要綱の一部改正について
 （4）移動等円滑化評価会議中国分科会について
 （5）構成員のバリアフリーに関する取組状況について
 （6）意見交換
 （7）閉会挨拶（島根県土木部土木総務課長）

【構成員】

- 学識経験者
 建築設計事務所 飴屋工房 代表 足立 正智
- 高齢者・障害者団体
 島根県身体障害者団体連合会
 公益社団法人島根県視覚障害者福祉協会
 島根県ろうあ連盟
 一般社団法人島根県精神保健福祉会連合会
 島根県手をつなぐ育成会
 島根県自閉症協会
 公益財団法人島根県老人クラブ連合会
 しまね盲ろう者友の会
- 施設設置管理者
 西日本旅客鉄道株式会社
 中国統括本部山陰支社
- 一畑電車株式会社
 一般社団法人島根県旅客自動車協会
 島根・鳥取県旅客船協会
 島根県旅館ホテル生活衛生同業組合
 出雲空港ターミナルビル株式会社
 石見空港ターミナルビル株式会社
- 行政機関
 島根県
 松江市
 出雲市
 松江国道事務所、島根運輸支局
 中国地方整備局、中国運輸局

【会議の様子】



座長 建築設計事務所
飴屋工房 代表 足立 正智



対面会場
(松江国道事務所)



意見交換

島根県バリアフリー等地域連絡会【構成員のバリアフリーの取組状況（概要）】

《西日本旅客鉄道株式会社中国統括本部山陰支社》

- 社員への教育・訓練等の実施、サービス介助士取得、新型やくもバリアフリー体験会実施、視覚に障がいがあるお客様への券売機購入体験会実施（宍道駅）、出雲養護学校雲南分教室へのマナー教室の実施、介助連絡体制の構築（駅・乗務員の連携）

《一畑電車株式会社》

- ホームページの更新に合わせ、バリアフリー情報を各駅のホームページに掲載

《出雲空港ターミナルビル株式会社》

- ホームページの更新時に、施設内におけるバリアフリー情報を掲載
- 現場スタッフ7名全員がサービス介助士の資格を取得、定期的な更新教育の受講
- 車椅子が通行しやすいように出発ゲートの拡張（70cm⇒91cm）

《石見空港ターミナルビル株式会社》

- 観光案内担当者のうち1名が手話検定準1級の資格を取得

島根県バリアフリー等地域連絡会意見交換（概要）

【意見交換（概要）】

- 交通運賃割引制度について、現在は条件付きだが、今後は、各社とも障がい種別を超えて、100km以下の同伴条件をやめ、全ての手帳所持者が対象になる制度を求める。また、鉄道、バスなどの路線縮小、廃止のため、障がい者、高齢者は大変困っている。
 - JRとして、割引制度の条件付きについて、1種の障がいをお持ちの方は交通機関を利用する際に介護者が必要な場合、結果的に1人の移動のために2人分の運賃を払わざるを得ないため、経済的負担が多くなる。この経済的負担を軽減することと、移動しやすい環境を作るために、本人と介護者それぞれを5割引にして、結果的に1人分にするとするところが、1種の障がいをお持ちの方への対応となる。
 - 1人で旅行できる場合には、経済的負担が発生していないため、同様の割引とはならないのだが、一方で、旅行金額が高額になる100km以上の場合については、同様に割引をつけさせていただくというのが、今の制度上の考え方となり、J R西日本のみならず、東海、東日本なども含めた共通のルールで運営している。いただいた意見はしっかり持ち帰らせていただく。
- 点字ブロックは視覚障がい者にとっては大変必要なものである。一方、車椅子使用者の立場から考えると、点字ブロックで車椅子の前輪が取られてしまうなど、歩道の幅等によっては設置場所がちょうど車輪が当たるところに設置してあるような箇所が見られる。今後、新たに設置する際は、我々当事者にも相談いただき、視覚障がい者も一般歩行者も車椅子使用者も誰もが通りやすい歩道になるように作っていただきたい。
 - 誘導ブロックの設置と車椅子ユーザーの車輪がとられてしまうという問題については、国土交通本省で開催されている移動等円滑化評価会議でも数年前に議題になったと伺っている。
 - 非常に難しい問題だというのは承知いただいていると思うが、今後何か状況が分かれば提供させていただきたい

【意見交換（概要） 続き】

- 島根県土木部の取組状況資料「道と川の相談ダイヤル」について、電話番号が載っており、聞こえる人は電話で相談できるが、FAXでの相談も可能なのか。FAX番号の記載もお願いしたい。
 - いったん持ち帰らせていただき、FAX番号を記載する方向で進めていきたいと思う。

※後日、対応済み
- J Rのみどりの窓口プラスを利用した際、事前に、どこからどこまで何時に何号車のやくもに乗るのかというように紙に書いたものを準備した上で、一人で利用をした。なかなか切符が出てこず、後ろに行列もできて不安になった。オペレーターの方が話しているかどうか分からないという状況で、やり取りにかなりの時間を要した。この機械は出雲市に1つしかないこともあり、行列ができてしまった。できれば手話での表示など、聞こえない方でも利用しやすいような工夫をしていただきたい。
 - みどりの窓口プラスについては様々な多くの意見を頂戴している。導入して間もないため、課題の多い中で御不便をおかけして誠に申し訳ない。
 - 手話を習得するということについては、なかなか全社員習得ということに時間がかかると思うが、筆談という点については、現在の窓口の中のように、当たり前に行列ができるような環境にしていきたいと思っているため、少し時間をいただければと思う。

【意見交換（概要） 続き】

- 3月に新型やくもの体験試乗会に参加させていただいた。座席等が広くなりよくなったと思ったが、バリアフリースイレについて、車椅子利用者においては広くなりよいと思うが、出入口のところに手すりがなく、目の見えない者にとっては不安を感じる。
 - いただいた意見は持ち帰り、関係部署に共有させていただく。補足として、やくも号の多目的トイレについては、在来線の特急ではおそらく最大級の広さとなっている。その一方で、どうしても壁や便器までの距離が遠くなり、私たちが思っていなかったような、配慮が足りない部分が出てきたという点について、手すりの設置が妥当かどうかも含めて検討させていただく。また、試乗会でのアンケートについては既に社内で共有している。
- 穴道駅では跨線橋を渡り、別のホームへ行き、電車に乗る必要がある。跨線橋は階段となっているため、車椅子の方や盲ろう者は介助がないと渡れないようになっている。
 - 穴道駅の跨線橋については、60年前の非常に古い設計となっている。そのため、階段の奥行きが狭く、急で途中で踊り場もない。手すりがついていると言えども、非常に不安な状況になっているということについて、心苦しく思っている。
 - 一方で、島根県内にはこのような跨線橋は多々残っており、すぐに改善するという状況ではないということについては御理解いただきたい。また、私ども社員が御案内をお手伝いさせていただくので、遠慮なく伝えてほしい。

島根県バリアフリー等地域連絡会座長まとめ

- 新型やくもという新しい車両ができて、私も何度か乗ったが、乗り心地もよく、いい車両だと思う。
- 新型やくもに関して様々な御意見もあり、今回 J R さんに質問が集中したような感じもあるが、他の交通機関、行政の方においても、様々な意見があったので、ぜひお持ち帰りの上、これからも改善に向けて努力していただくようよろしくお願いします。

広島県バリアフリー等地域連絡会議

【会議概要】

日時：令和7年1月29日（水）13:30～15:30

場所：WEB（一部対面）形式で実施

- 議事：（１）開会挨拶(広島運輸支局長)
 （２）座長選出・挨拶
 （３）運営要綱の一部改正について
 （４）移動等円滑化評価会議中国分科会について
 （５）構成員のバリアフリーに関する取組状況について
 （６）意見交換
 （７）閉会挨拶(広島県土木建築局都市計画課長)

【構成員】

○学識経験者

国立大学法人広島大学
 アクセシビリティセンター准教授 山本幹雄

○高齢者・障害者団体

一般社団法人広島県身体障害者団体連合会
 社会福祉法人広島県視覚障害者団体連合会
 一般社団法人広島県ろうあ連盟
 公益社団法人全国脊髄損傷者連合会広島県支部
 公益社団法人広島県精神保健福祉家族会連合会
 一般社団法人広島県手をつなぐ育成会
 特定非営利活動法人広島自閉症協会
 公益財団法人広島県老人クラブ連合会

○施設設置管理者

西日本旅客鉄道株式会社 中国統括本部
 広島電鉄株式会社 電車事業本部
 広島高速交通株式会社
 公益社団法人広島県バス協会
 一般社団法人広島県タクシー協会
 広島県旅客船協会
 一般社団法人日本ホテル協会中国四国支部
 日本旅館協会中国支部連合会
 広島国際空港株式会社

○行政機関

大阪航空局
 広島県
 広島市
 広島国道事務所、広島運輸支局
 中国地方整備局、中国運輸局

【会議の様子】



座長 国立大学法人広島大学
 アクセシビリティセンター 准教授 山本 幹雄



WEB会議の様子



手話通訳による情報保障

広島県バリアフリー等地域連絡会【構成員のバリアフリーの取組状況（概要）】

【西日本旅客鉄道株式会社 中国統括本部】

- 芸備線 安芸矢口駅 バリアフリー化工事が完成（2024年3月17日）
- 山陽本線 西高屋駅 東広島市と橋上化事業を実施しており、今年度末に完成予定。完成に伴いエレベーター（2機）や触知案内板、2段手すり等の整備が完了予定
- 芸備線 戸坂駅
バリアフリー基準適合のスロープに改修が完了し、既に供用を開始済み（2024年12月）
- 全体的な取組として、ソフト面の教育を継続的に実施（旅客支援、情報提供、教育訓練）

【広島電鉄株式会社】

- 超低床車両の導入（2023年度1編成、2024年度2編成）
- ICカード全扉乗降サービスの接続車両への拡大（車内の移動距離の短縮ベース時間（日中）については、全車両対応済み）

【広島高速交通株式会社】

- バリアフリー施設の設備点検
- バリアフリー施設の設置（多目的トイレのオストメイト設置が完了）
- バリアフリー施設の設置検討（段差・隙間の縮小設備、トイレ表示の明確化）
- 車椅子等の乗降補助のための研修の実施
- 年間計画による接遇研修の実施

【一般社団法人日本ホテル協会中国四国支部】

- 2024年7月1日観光庁の「心のバリアフリー認定」取得（リーガロイヤルホテル広島）
- 従業員へ動画研修を実施

【広島国際空港株式会社】

●ターミナルビルの東側に3階建て建物を増築し、2024年12月19日から供用を開始。

（1階）オープンスポットへのバリアフリー動線の最短化を目的として、東側増築エリア内にバリアフリー対応エレベーターを新設。これにより、搭乗待合室内から直接オープンスポットへの移動が可能となった。

（2階）オープンスポットへのバリアフリー動線の最短化を目的として、東側増築エリア内にバリアフリー対応エレベーターを新設。これにより、搭乗待合室内から直接オープンスポットへの移動が可能となった。3階に新しく整備したラウンジ「Yamanami Villa」へのバリアフリー対応として、バリアフリー対応エレベーターを新設。

（3階）保安検査通過後の搭乗待合室内3階エリアにラウンジ「Yamanami Villa」を新設し、12月24日から供用を開始。2階搭乗待合室と3階ラウンジは、バリアフリー対応エレベーターで接続され、ラウンジ内には、多目的トイレ等を整備。さらに、国内空港で初となる屋外オープンラウンジを整備し、室内側と段差をなくしフルフラット動線とした。

広島県バリアフリー等地域連絡会議意見交換（概要）

- 交通機関に緊急放送があったとき、理解が難しい。（聴覚障害）
 - (アストラムライン)駅舎については、中央指令室に設置してある案内中央装置により、各駅に設置してあるサイネージに表示している。また、車両については、ホームドア上に設置している液晶パネルにて異常時における情報を表示できる機能がある。
 - (JR)一定の乗降人員がある駅については、そのグレードに伴った「異常時情報提供ディスプレイ等」を設置している
- 交通機関パネルに遅れなどお知らせを表示してくれるとありがたい。（聴覚障害）
 - 各駅に設置してあるサイネージに、大幅な遅延が生じた場合は運行状況等の情報を表示している
- みどりの窓口の無人化について。機械が導入されていても、文字情報だけでは分かりづらいといった声があがっている。また、機械が設置されない駅については、その理由を教えてください。
- 鉄道事業を継続していく上で、労働人口の減少といった働き手不足の問題があり、機械化できる駅については、機械化をしている現状である。人でないとできないサービス（対応）については、人員を配置し、対応の充実を進めているので、御理解いただきたい。みどりの窓口がなくなっている理由としては、駅ごとの理由は承知していないが、一定以上の利用者数がない駅等について、事前に告知した上で順次閉鎖している。御不便をおかけし、難しい問題ではあるが、御理解いただきたい。筆談対応については、「わかりにくい」「時間がかかる」といった声も寄せられているが、オペレーターの教育を実施しているため、改善に向かっていると考える。

広島県バリアフリー等地域連絡会議意見交換（概要）

【意見交換（概要） 続き】

- 障害者手帳に顔写真がない方もいるが、そのような方への割引対応はどうなるのか。
 - 社内の規定上、「本人の確認ができる有効な障害者手帳をお持ちの方に対して割引」という制度になっており、顔写真のない障害者手帳は、本人確認ができず有効と認められないため、割引を行うことはできない。障害者手帳を交付している都道府県または市町村の窓口に御相談をお願いしたい。
- 広島県は歩行者のいる横断歩道で車が止まらないことについて、全国ワーストだが、キャンペーン等により、現在かなり改善されていると思う。エスカレーターについても同様に、利用時において、歩く・走ることがマナー違反である、と定着し始めたと思うが、社会全体の課題であるため、安全を守る観点からより定着が進めば良いと考える。
 - 平成29年、国土交通省において、転落防止対策を講じるための参考事例等を示した「エスカレーターの転落防止対策に関するガイドライン」が、策定されており、特定行政庁や関連団体に周知を図っている。利用者自らが安全な利用方法を理解することが事故を減らす最も効果的な対策であることについても、施設設置管理者である交通事業者等と連携し、利用者に対し安全な利用を呼びかけるキャンペーンの実施や周知を積極的に行っている。今後も会議等で皆様からいただいた御意見については、施設設置管理者の方々へ共有し、対応していければと考える。

【意見交換（概要） 続き】

- エレベーター入口をガラス窓にしてほしい。（聴覚障害）
 - （アストラムライン）各駅設置のエレベーターは全てガラス窓が設置されている。
 - （JR）2006年バリアフリー法改正以降に設置されたエレベーターについては、移動等円滑化基準に基づきガラス窓を整備している。ガラス窓の大きさについては、メーカー等により多少異なる。
- 子どもたちが交通機関を利用し通学する中、交通機関の案内に平仮名をつけてくれたら助かる。
 - （アストラムライン）プラットフォームの駅名表示については、平仮名も記載している。その他のサインに関しては英語表記等を併用しており、平仮名は表記されていない。
 - （JR）駅のサインについて表記内容を必要最低限としている。理由は、情報過多により結果サインの機能が低下する可能性があることからであり、平仮名表記は基本していない。ただし、ホームの駅名サインは難読駅や、動く車内からホーム上の駅名標を見たときに分かりやすいよう平仮名を表記している事例もある。

広島県バリアフリー等地域連絡会座長まとめ

- 私自身、この会議に参加するのは3回目になるが、参加する度に取組が進んでいると感じ、今後にも期待ができる。
- 会議内で当事者団体の皆様から御意見いただくことで、これからの取組に反映されていくということは、会議が大変機能していると思う。
- 新しいサービスやテクノロジーの導入により、利用者の利便は向上していくが、それ以前に慣れていく必要があり、その際はソフト面のサポートも必要である。